

小学校道徳科の 「情報モラル指導資料集」



目次

はじめに 1

「情報モラル指導資料集」の活用について 2

一年 読み物教材「とらくんのタブレット」 3

展開例 4

ワークシート 6

「情報モラルユニット」シート 7

「情報モラルユニット」シート 8

二年 読み物教材「新聞づくり」 10

展開例 12

ワークシート 13

「情報モラルユニット」シート 14

三年 読み物教材「オンラインゲーム」 16

展開例 18

ワークシート 19

「情報モラルユニット」シート 20

四年 読み物教材「メールの返信」 22

展開例 24

ワークシート 25

「情報モラルユニット」シート 26

五年 読み物教材「動画の投稿」 28

展開例 30

ワークシート 31

「情報モラルユニット」シート 32

六年 読み物資料「町のキャラクター」 34

展開例 36

ワークシート 37

「情報モラルユニット」シート 38

はじめに

「小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編」（平成二十九年七月）では、道徳科での情報モラルに関する指導について、児童の発達の段階や特性を考慮し、道徳科の内容との関連を踏まえつつ、情報モラルに関する指導を充実させることが示されています。また、道徳科の教材に関して、特に情報化への対応等の現代的な課題を題材として取り扱う際には、児童が問題意識をもって、多面的・多角的に考えられるよう、充実した教材の開発や活用を行うことが求められています。

そこで、道徳科の学習で活用する児童の発達に合わせた「情報モラル指導資料集」を作成しました。道徳科で情報モラルに関わる指導を行う上でぜひ活用してほしいと思います。

「情報モラル指導資料集」の活用

「情報モラル指導資料集」の活用として、自作の読み物教材を使った1単位時間での活用と「情報モラルユニット」での活用があります。

① 1単位時間での活用

1単位時間の活用では、児童の実態やクラスの課題などに合わせて、時期を問わずに教師が読み物教材を選択し、授業で使うことができます。

② 「情報モラルユニット」での活用

「ユニット」とは、同一もしくは異なる内容項目を関連させて作成する複数単位時間の授業構想のことです。情報モラルに関わる教科書の教材と、本資料の読み物教材を組み合わせ「情報モラルユニット」とすることで単位時間ごとにつながりのある授業を目指しました。「情報モラルユニット」での授業を行うことで、児童がより道徳的価値を多面的・多角的に捉えられるという利点があります。「情報モラルユニット」で使用するワークシートを作成しました。活用については、2単位時間用と3単位時間用のワークシートがありますので、学校、学級の実情に応じて御活用ください。

【活用例】（第4学年）

教科書の教材二つと自作の読み物教材「メールの返信」を組み合わせ「情報モラルユニット」シート

「情報モラルユニット」シート	
4年 組 名前	
「情報モラルユニット」テーマ 「インターネット上の適切なやり取りについて考えよう」	児童の発達の段階に即したテーマを設定します。
○インターネットを使ったやり取りで、大切なことはなんだろう。	テーマに対する初めの考えを記入します。
「※教科書の教材名」で考えたこと	情報モラルに関わる教科書の教材を一～二つ組み合わせます。「」は教材名を入れます。
「※教科書の教材名」で考えたこと	
「メールの返信」で考えたこと	読み物教材は実態に応じて、扱う時間を決めます。
もう一度考えよう ○インターネットを使ったやり取りで、大切なことはなんだろう。	テーマに対する振り返りを記入します。

とらくんのタブレット

(一年生 正直、誠実 主題「しょうじきな こころで」)

きょう、一ねんくみでは、タブレットを 使った じゅぎょうが あります。
はじめに せんせいが

「タブレットは おとさないように きをつけましょう。」

と、はなしを しました。

タブレットのじゅぎょうが だいすきな とらくんは おおよろこび。

タブレットをケースから いきおいよく だしました。そのとき、てが すべって、タブレットが ゆかに おちてしまいました。

とらくんが タブレットを ひろうと、 かどが かけていました。

「どうしよう。」



とらくんが タブレット^{たぶれっと}を おとしたことに みんなは きづいていません。とらくんは せんせいに いおうか なやみました。みんながきづいていないので、だまっていることにしました。

いえに かえったあと、おねの ときどきが とまりませんでした。つぎのひ、とらくんは タブレット^{たぶれっと}のことを しょうじきに せんせいには なすことにしました。

「せんせい、きのう タブレット^{たぶれっと}を おとして こわしてしまいました。ごめんなさい。」

「しょうじきに いえて えらいわ。でも、タブレット^{たぶれっと}は こわれやすいものだから、こんどからは きをつけて つかいましょうね。」

いつのまにか とらくんの おねの ときどきは きえていました。



小学校第1学年 主題名：しょうじきなところで

内容項目 A-(2) 正直、誠実

教材名 「とらくんのタブレット」

ねらい タブレットを壊してしまい、素直に謝れない主人公の姿を通して、うそやごまかしをしないで
 明るい心で生活しようとする道徳的な心情を育てる。

展開例

	学習活動と発問 ○発問 ◎中心発問 ◇補助発問 [☆]: ICT活用	・予想される児童の意識	・支援及び指導上の留意点
導入 10分	1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。 ○今まで正直になれずに、うそやごまかしをしてしまったことはありますか。 【問題意識】 ・正直になれないことがあるな。	・友達の作品を勝手にいじって壊してしまったときに、「ぼくは知らない」とごまかしてしまった。	・うそやごまかしを告白する時間ではないことや告白したことでは叱るわけではないことを伝える。 クラスの状況によっては、発表させるだけにする。
	めあて 正直でいることが大切なのは、なぜだろう。		
展開 25分	2 教材文の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○タブレットのことを言えずに家に帰ったあと、とらくんはどのようなことを考えていたでしょう。 ◎とらくんは、なぜタブレットのことを先生に言おうと思ったのでしょうか。[☆] ◇正直に謝れたとき、とらくんはどのような思いだったでしょう。	・先生に怒られるかもしれない。 ・だれにも見られなかったから、このままだまっていよう。 ・このまま謝らずに黙っていると、ずっと嫌な思いをずっとしたから。 ・心がすっきりして、正直に謝ってよかったと思った。	・謝った方がよかったという気持ちと、タブレットを落としたところを誰も見ていなかったからごまかしたいという気持ちの葛藤を考えさせる。 ・うそやごまかしそのものがよくないということと、自分に対して正直であることの気持ちよさについても考えられるように促していく。 [ICT活用：考えの共有]
	4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。 ○正直でいることが大切なのは、なぜでしょう。	・正直でいた方が嫌な思いをせずに、気持ちよく過ごせるから。	・学習のめあてに戻り、意見の交流を通して気付いたことや考えたことを問いかける。
終末 10分	5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 ○今まで正直に過ごせていましたか。これからどのようにしていきたいですか。	・今までは正直になれなかったことがあったけれど、これからは、正直になって気持ちよく過ごしたい。	・授業を通して考えてきたことを自分のこれからの結び付けて振り返らせる。

評価の観点 うそをついたりごまかしたりせず、自分に対して正直でいるために、どのようなことを大切にしていこうかと考えている。

情報モラルメモ

情報機器の扱い方…タブレット等の情報機器を安全に使うために、児童の実態に合わせたルールづくりが必要である。

【「はばたく群馬の指導プランⅡ」ICT活用 Version: ICT活用のためのルール参考資料 PDF版(小学校)】

<https://gunma-boe.gsn.ed.jp/wysiwyg/file/download/506/2681>



○₂、カ、N、N、(、#、#、9、N、N、カ、5、9、₂)

[illegible]

255

「テ、フ、ユ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ」

いちねん　へみ　がみせん

7-11-14

「じょうほうモラルユニット」シート

1ねん くみ なまえ

「じょうほうモラル」ユニットテーマ

「みんなの ばしょや ものを たいせつにしよう」

○みんなが つかう ばしょや ものを たいせつにするには どのようなことに
きをつけたらよいでしょう。

「

」でかんがえたこと

「

」でかんがえたこと

もう いちど かんがえよう

○みんなが つかう ばしょや ものを たいせつにするには どのようなことに
きをつけたらよいでしょう。

「じょうほうモラルユニット」シート

1ねん くみ なまえ

「じょうほうモラル」ユニットテーマ

「みんなの ばしょや ものを たいせつにしよう」

○みんなが つかう ばしょや ものを たいせつにするには どのようなことに
きをつけたらよいでしょう。

「 」でかんがえたこと

「 」でかんがえたこと

「 」でかんがえたこと

もう いちど かんがえよう

○みんなが つかう ばしょや ものを たいせつにするには どのようなことに
きをつけたらよいでしょう。

しんぶん

新聞づくり

(二年生 善悪の判断 主題「正しいと思うことを」)

しんじさんは、クラスの新聞しんぶんがかりです。クラスの最新さいしんのニュースをあつめて、かかりの人きょうりよくたちと協力きょうりよくして新聞しんぶんを書いてかいます。しんじさんの新聞しんぶんはくわしく書かかれていると、みんなによろこばれています。

きょうも、しんじさんは、みんなによろこんでもらえるような新聞しんぶんを書かこうと、友だちともに最近さいきんのできごとを聞きいてまわっています。その中で、まさ子さんの家いえが新あたらしく建たて替かえられたといはなし話を聞ききました。

しんじさんは、まさ子さんから家いえの様子ようすを聞きき、さっそく新聞づくりしんぶんに取りとかかりました。その時おな、同じ新聞しんぶんがかりのひろしさんが、

「まさ子さんの家いえってぼくの家の近くちかだから、場所ばしょがわかるよ。

地図ちずをかいっていっしょにのせようよ。」

と言いったので、まさ子さんの家の場所ばしょが分かる地図ちずを新聞しんぶんにのせることにしました。

しんじさんは新聞しんぶんができあがったので、まさ子さんに、にこにこしながら見せに行きました。



新聞を見た、まさ子さんは、

「えっ！」

と、おどろきました。

まさ子さんは、新聞に地図がのると、知らない人に家の場所を知られてしまうかもしれないので、こわいと言うのです。

そのことを聞いたしんじさんは、なやんでしまいました。

しんじさんは、しばらく考えると、新聞がかりのみんなに、まさ子さんの気持ちを伝えまし



た。そして、新聞に地図はのせないことにしようと、みんなを説得しました。

まさ子さんは、その様子を少しはなれた所から見守っていました。

その日の帰り道、しんじさんはまさ子さんに声をかけられました。

「地図をのせないでくれてありがとう。」

まさ子さんの笑顔を見て、しんじさんのおねの中がすうっとしました。

小学校第2学年 主題名 正しいと思うことを

内容項目 A-(1) 善悪の判断

教材名 「新聞づくり」

ねらい 新聞係である主人公が友達の家を新聞に載せるかどうかを悩む姿を通して、よいと思ったことを進んで行うための道徳的な判断力を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問</p> <p>○発問 ◎中心発問</p> <p>◇補助発問</p> <p>[☆]: ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。</p> <p>○よいと思ったことをしようとして迷ったことはありますか。</p> <p>【問題意識】</p> <p>・よいことだと分かっている、なかなか行動できない。</p>	<p>・教室にごみが落ちていたけれど、自分が落としたごみではないので拾わなかった。</p>	<p>・学校生活の中で、よいと思っていることでも、なかなか行動できないという問題意識をもたせるようにする。</p>
<p>めあて よいと思ったことを進んですることが大切なのは どうしてだろう。</p>			
展開 25分	<p>2 教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p> <p>○まさ子さんの家のことを聞いた時、しんじさんはどのようなことを考えたでしょう。</p> <p>◎しんじさんはどうして、まさ子さんの家の場所を新聞に載せるかどうか悩んだのでしょうか。[☆]</p> <p>◇家の場所を載せた方がよい新聞になると思いませんか。</p>	<p>・まさ子さんやみんなに喜んでもらえる新聞にしよう。</p> <p>・家の場所を知られると、まささんが困ってしまう。</p> <p>・みんなに喜んでもらえる新聞が作りたい。</p> <p>・まささんが困ってしまうからよい新聞にはならない。</p>	<p>・しんじさんが新聞づくりに意欲的になっていることを押さえる。</p> <p>・みんなに喜んでもらえるような新聞を作ることと、まささんが困ってしまうという葛藤について考えさせる。</p> <p>[ICT活用: 考えの共有]</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。</p> <p>○よいと思ったことを進んですることが大切なのは どうしてでしょう。</p>	<p>・よいか悪いかをきちんと考えて行動すると、すっきりした気持ちになるから。</p>	<p>・よいと思うことをすると、清々しい気持ちになることを確認する。</p>
終末 10分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○これまでの自分は、よいと思うことを進んでできていたか。これからどのように生活していきたいですか。</p>	<p>・これまでは、よいと思ったことでも、できないことがあった。これからは、誰かが困らないように、よいと思ったことは進んでやりたい。</p>	<p>・授業で学んだことや感じたことを基にこれからのよりよい過ごし方について振り返らせる。</p>

評価の観点 よいことと悪いことの判断をし、よいと思うことを進んで行うことのよさについて、自分自身との関わりで考えている。

情報モラルメモ

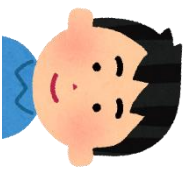
個人情報…生存する個人に関する情報で、氏名、生年月日、住所、顔写真などにより特定の個人を識別できる情報のこと。

【「個人情報保護法」をわかりやすく解説 個人情報の取扱いルールとは? : 政府広報オンライン】

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201703/1.html>

めあて

○おやぢやゝの家へいって、おやぢやゝの家のおしを新聞にのせる
よ。



○おやぢやゝの家へいって、おやぢやゝの家のおしを新聞にのせる
かゝる、おやぢやゝのし。

○おやぢやゝの家へいって、おやぢやゝの家のおしを新聞にのせる
(おやぢやゝの家へいって、おやぢやゝの家のおしを新聞にのせる)

「じょうほうモラルユニット」シート

2年 くみ 名まえ

「じょうほうモラルユニット」テーマ

「自分やたにんの ものやじょうほうを たいせつにあつかおう」

○自分やともだちの ものやじょうほうを たいせつにあつかうとは どのようなこと
だろう。

「 」でかんがえたこと

「 」でかんがえたこと

もう一度かんがえよう

○自分やともだちの ものやじょうほうを たいせつにあつかうとは どのようなこと
だろう。

「じょうほうモラルユニット」シート

2年 くみ 名まえ

「じょうほうモラルユニット」テーマ

「自分やたにんの ものやじょうほうを たいせつにあつかおう」

○自分やともだちの ものやじょうほうを たいせつにあつかうとは どのようなこと
だろう。

「 」でかんがえたこと

「 」でかんがえたこと

「 」でかんがえたこと

もう一度かんがえよう

○自分やともだちの ものやじょうほうを たいせつにあつかうとは どのようなこと
だろう。

オンラインゲーム（三年生 規則の尊重 主題「きまりを守って生活するには」）

まさと
正人さんは、誕生日たんじょうびに新しいゲーム機きを買ってもらいました。さっそく友だちの間で、は
やっているオンラインゲームをため試してみると、とてもおもしろかったので、夢中むちゅうになってし
まいました。

そんなある日、友だちの健太さんけんたからゲームの中で、とても強いアイテムを手に入れたと
いうことを聞きました。

健太さんけんたにくわしく話を聞いてみると、アイテムを手に入れるには、お金を払はらわないとい
けないということがわかりました。すると、正人さんは悩なやんでしまいました。なぜなら、正
人さんの家では、オンラインゲームは無料むりようでプレイするという約束やくそくがあるからです。正人さ
んは、健太さんけんたに、

「家の人との約束やくそくがあるから、ぼくは買わないよ。」
と言いました。すると、

せいきゅうしょ
請求書

たび
この度はアイテムのお買い上げありがとうございました。

だいきん
つきましては、〇月〇日までに、代金をお支払いください。

「クラスの子もみんな買ってるよ。正人さんだって強いアイテムほしいだろ。」
と、健太^{けんた}さんに言われました。

家に帰った正人さんは、悩^{なや}んだ末^{すえ}に、親に言わずにアイテムを買ってしまいました。
正人さんは、親に言わずにアイテムを買ったことが心に引^ひかかっていたが、手に入れたアイテムを使うと、ゲームがおもしろいように進^{すす}むことが楽しくて、

いつしか、そのことを忘^{わす}れていました。

すうじつご
数日後、オンラインゲームをしていた正人さんのゲームの画面にメッセージ^{がめん}が出てきました。

メッセージは、ゲームの中で手に入れたアイテムの請求書^{せいきゅうしょ}のことだと気が付きました。正人さんはじっと画面^{がめん}を見つめたままでした。

その日、家族^{かぞく}で夕飯^{ゆうはん}を食べている時、おいしく感じませんでした。



小学校第3学年 主題名：よく考えて行動するには

内容項目 Cー(11) 規則の尊重

教材名 「オンラインゲーム」

ねらい オンラインゲームのアイテムを親に伝えずに購入してしまい、後悔する主人公の姿を通して、自分自身で考えて、きまりを守り生活していこうとする道徳的な実践意欲と態度を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問 ○発問 ◎中心発問 ◇補助発問 [☆]：ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。 ○きまりを守らず、後悔したことはありますか。 【問題意識】 ・きまりを守れていないことがあるな。</p>	<p>・宿題よりもゲームをしてしまって、宿題が終わらなかった。</p>	<p>・普段の生活の中で、きまりを守らずに後悔した経験を思い出させ、問題意識をもたせる。</p>
めあて よく考えて行動することが大切なのはなぜだろう。			
展開 25分	<p>2 教材文の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○健太さんがゲームのアイテムを手に入れたと聞いたとき、正人さんはどのようなことを考えたでしょう。 ◎請求書をじっと見つめたときの正人さんの気持ちを考えましょう。 ◇勝手にアイテムを買ったことを親に知らなければよいのでしょうか。</p>	<p>・アイテムを手に入れた。 ・みんなに自慢ができる。 ・どうして、親との約束を守らなかったのだろう。 ・親と決めた約束はきちんと守らなければいけないと思う。</p>	<p>・どうしてもアイテムがほしい正人さんの気持ちを共感的に捉えさせる。 ・正人さんが後悔している姿を取り上げ、考えを交流させる。 [ICT活用：考えの共有]</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える ○きまりを守って生活することが大切なのはなぜでしょう。</p>	<p>・きまりを守って行動しないと、自分も嫌な思いをするし、周りの人にも迷惑を掛けてしまうことがあるから。</p>	<p>・自分のやりたいことを優先させてしまう気持ちとどのように向き合うかを考えさせる。</p>
終末 10分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 ○これまでの自分は、きまりを守ってよく考えて生活できていましたか。これからどのように生活していきたいですか。</p>	<p>・これまでは、自分のやりたいことを優先してしまっていたので、これからは、時間を決めたり、きまりを守ったりして、よく考えて行動していきたい。</p>	<p>・授業で学んだことや感じたことを基にこれからのよりよい生活の仕方について考えさせる。</p>

評価の観点 きまりを守って生活することの大切さについて、自分自身との関わりで考えている。

情報モラルメモ

インターネットの依存性…小学生のインターネットの利用内容において「ゲームをする」が84.5%で最も高い。

【令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）：令和4年3月 内閣府】

https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_torikumi/tyousa/r03/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf

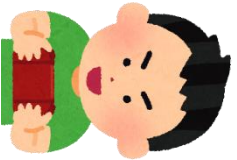
三年 組 名前

「オニイゲーム」

めあて

○健太さんがゲームのアイテムを手に入れたと聞いたとき、正人さんはどのようなことを考えてしよう。

○講求書をじつと見つめたときの正人さんの気持ちを考えよう。



○うりがえさつ（今までの自分とこれから自分）

じょうほう
「情報モラルユニット」シート

3年 組 名前

じょうほう
「情報モラルユニット」テーマ

「インターネットに夢中になりすぎないようにしよう」

○インターネットに夢中になりすぎないようにするには、どのようなことに気を付けたらよいでしょう。

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

もう一度考えよう

○インターネットに夢中になりすぎないようにするには、どのようなことに気を付けたらよいでしょう。

じょうほう
「情報モラルユニット」シート

3年 組 名前

じょうほう
「情報モラルユニット」テーマ

「インターネットに夢中になりすぎないようにしよう」

○インターネットに夢中になりすぎないようにするには、どのようなことに気を付けたらよいでしょう。

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

もう一度考えよう

○インターネットに夢中になりすぎないようにするには、どのようなことに気を付けたらよいでしょう。

メールの返信

(四年生 相互理解、寛容 主題「相手のことを考えて」)

「どうして、メールを返信しないのだろう。」

わたし(広子)が真弓まゆみにメールを送ってから、もう三十分も経たっているのに返事が来ない。真弓はいつも返信へんしんが遅おそい。私はメールが来たらすぐに返信できるように、家では常つねにスマホを持ち歩いているというのに。わたしは、明日の宿題について真弓に確認かくにんしたいことがあるのだ。さっきから何度もメールをしているのに、全然返って来ない。

次の日、学校に着くと、わたしはすぐに真弓のもとに向かい、なぜ返信をしなかったのかを聞いた。そして、真弓は

「昨日はほんとにごめんね。習い事があって、メールに気付いたのが朝だったの。それに、夜遅くにスマホは使わないっていう家族との約束もあるから返せなかったの。」

と言ってきました。わたしは、

「大事な用事だったんだから、早く返信してよ。真弓のせいで宿題ができなかったじゃない。」



と、言い返すと、真弓に背を向けて席にもどった。

その日の夕方、真弓から『返信できなくてごめんね』というメールが何度か来たが、わたしはスマホをしばらく放っておくことにした。

夜、お風呂に入ったあと、スマホを見てみると姉から着信とメールが来ていることに気が付いた。

『今、駅にいるんだけど、急に雨が降ってきたから、お母さんに車で迎えをお願いしてちょうだい。お母さんのスマホがつかないの。』

着信の時間を見ると、一時間前のものだった。

急いでお母さんに知らせようと思ったその時、ずぶ濡れになった姉が帰ってきた。わたしは、

「お姉ちゃんごめん！ メールに気が付かなかったの。」

と、すぐにあやまった。すると、姉は、

「いいのよ。広子も返信できない事情があるのかなって思ったんだ。気にしないで。」

と言って、タオルを取りに向かった。

わたしは、姉の後ろ姿を見ながら、真弓に対する自分の態度を思い返していた。



小学校第4学年 主題名：相手のことを考えて

内容項目 Bー(10)相互理解、寛容

教材名 「メールの返信」

ねらい メールの返信がないことに腹を立てる主人公の姿を通して、相手の立場を受け止め、相手への理解を深め、よりよい関係を築こうとする道徳的な心情を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問</p> <p>○発問 ◎中心発問</p> <p>◇補助発問</p> <p>[☆]：ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。</p> <p>○友達とうまく理解し合えなかったことは、ありますか。</p> <p>【問題意識】</p> <p>・相手のことを理解しようとしていない時があるな。</p>	<p>・委員会の活動で、意見が合わずに話し合いがなかなか進まなかった。</p>	<p>・友達とぎくしゃくしたときのことなどを具体的に思い出させる。そんなとき、どうすればよかったかを考えていくことを伝え、めあてにつなげる。</p>
<p>めあて 相手のことを考えて行動することが大切なのは どうしてだろう。</p>			
展開 25分	<p>2 教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p> <p>○真弓からの返信がないことに「わたし」はどのようなことを思っていたのでしょうか。</p> <p>○姉のメールに気が付いた時の「わたし」の気持ちを考えましょう。</p> <p>◎真弓に対する自分の態度について「わたし」は、どのようなことを考えたでしょう。</p> <p>◇自分が困っている時に相手のことを考えて行動できますか。</p>	<p>・早く返信してよ。</p> <p>・宿題ができないじゃない。</p> <p>・お姉ちゃんのメールに気が付かなかった。どうしよう。</p> <p>・自分のことばかり考えていないで、相手の状況を理解してあげていなかったな。</p> <p>・相手のことを考えて行動しないと人間関係が悪くなると思う。</p>	<p>・「わたし」の一方的な都合で真弓に対して腹を立てていることを押さえる。</p> <p>・児童の実態に応じ、「非対面でのやり取り」について説明する。(情報モラルメモ)</p> <p>・グループで話し合い、お互いの気持ちを理解し合い、受け入れようとする姿勢が人間関係を築く上で大切であるという考えを深める。</p> <p>[ICT活用：考えの共有]</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。</p> <p>○相手のことを考えて行動することが大切なのは どうしてでしょう。</p>	<p>・相手のことを考えて行動しないと、よい関係を壊してしまうかもしれないから。</p>	<p>・自分の思いを丁寧に伝えて相互理解を図り、相手の行動を受け入れる寛容な心をもつことの大切さを確認する。</p>
終末 10分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○これから、お互いが分かり合うために、どのように過ごしていきますか。</p>	<p>・自分も同じような失敗をしてしまうかもしれないので、相手の置かれた状況を理解するようにしていきたい。</p>	<p>・自分の生活を見つめ、これからの生活に生かしていきたいことについてまとめさせる。</p>

評価の観点 互いに理解し合い、よりよい関係を気付くためには、どのような気持ちが必要であるか考えている。

情報モラルメモ

メールやSNS等でのトラブル・・・インターネットを介した非対面のコミュニケーションでは、相手の状況が伝わりにくく、トラブルが生まれやすい。

【インターネットトラブル事例集 (2022年版)：総務省】

https://www.soumu.go.jp/main_content/000707803.pdf

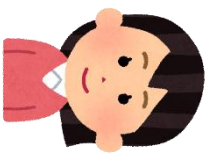
「メールの返信」

めあて

四年 組 名前

○姉のメールに気が付いた時の「わたし」の気持ちを考えよう。

○書きに対する自分の態度について「わたし」は、どのようなことを考えている。



○「い」かえろ（今までの自分とこれから自分）

じょうほう
「情報モラルユニット」シート

4年 組 名前

じょうほう
「情報モラルユニット」テーマ
「インターネット上の^{てきせつ}適切なやり取りについて考えよう」

○インターネットを使ったやり取りで、大切なことはなんだろう。

「
」で考えたこと

「
」で考えたこと

もう一度考えよう

○インターネットを使ったやり取りで、大切なことはなんだろう。

じょうほう
「情報モラルユニット」シート

4年 組 名前

じょうほう
「情報モラルユニット」テーマ
「インターネット上の^{てきせつ}適切なやり取りについて考えよう」

○インターネットを使ったやり取りで、大切なことはなんだろう。

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

もう一度考えよう

○インターネットを使ったやり取りで、大切なことはなんだろう。

動画の投稿とうこう

（五年生 自由と責任 主題「責任ある行動とは」）

五年生の良子りょうこさんは最近ダンスに夢中です。お気に入りの動画を見ながら毎日ダンスの練習れんしゅうをしています。

今日は仲良しの明美あけみさんの家で一緒にダンスの練習をすることになりました。

練習をしていると、良子さんが二人で踊っているところを撮影さつえいして、動画投稿とうこうサイトに投稿とうこうしようと言いました。明美さんは、

「そのサイトっていろいろな人が見るんでしょう？なんだか怖いこわような気がするな。」
と、返しましたが、良子さんは、

「だいじょうぶだよ。わたしも何度か投稿とうこうしているし。」

と言うと、一人で撮影さつえいの準備じゅんびを始めました。

撮影さつえいが終わると、良子さんは明美さんにこんなことを言いました。

「見ている人に動画を気に入ってもらえると、『イーね』が付くんだよ。この動画なら絶対ぜったいにたくさん『イーね』が付くと思うから、わたしが投稿とうこうしておくね。」

と言って帰っていきました。

翌日、良子さんは教室にいた明美さんを見つけると、かけ寄って行き、

「さっそく、『イイね』が付いたよ。投稿して良かったね。もっと増えるように、練習してまたあげようね。」

と、言いました。

数日後、「イイね」がまったく増えなくなりました。良子さんは明美さんに、

『『イイね』が付けてもらえなくなったから、あの動画は削除することにしたよ。次は、もっとたくさん『イ

イね』がもらえるようにがんばろうね。』

と、言いました。しかし、明美さんは不安そうでした。

それからしばらくして良子さんが動画投稿サイトでダンスの動画を見ていると、削除したはずの自分た

ちの動画を見付けました。その動画に付けられていた題名は「爆笑ダンス集」。一度、インターネット上

にあげられた動画は、保存され続け、一生消えないということを聞いたことを思い出した良子さんの頭に

明美さんの顔が浮かんできました。



小学校第5学年 主題名：責任ある行動とは

内容項目 A-(1) 自由と責任

教材名 「動画の投稿」

ねらい 自分勝手な考えで友達との動画を投稿してしまった主人公の姿を通して、自律的で責任のある行動をとろうとする道徳的な判断力を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問</p> <p>○発問 ◎中心発問</p> <p>◇補助発問</p> <p>[☆]：ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。</p> <p>○自分の言動に責任をもっていますか。</p> <p>【問題意識】</p> <p>・自分の言動にあまり責任をもてていないな。</p>	<p>・自分の言葉で相手を傷つけてしまった。</p>	<p>・児童にこれまでの生活を振り返らせ、自分の言動に責任をもっているかということを意識させる。</p>
めあて 責任ある行動とはどのようなことだろう。			
展開 25分	<p>2 教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p> <p>○良子さんはどのような思いで動画を投稿しようと思ったのでしょうか。</p> <p>◎動画を投稿する前に良子さんはどのようなことを考えなければならなかったのでしょうか。[☆]</p> <p>◇明美さんがよいと言ったら、動画を投稿してもよかったのでしょうか。</p>	<p>・動画を見た人から高評価が欲しかったから。</p> <p>・自分の思いだけで行動してはいけなかった。</p> <p>・動画を投稿すると、どのような影響があるかを考えるべきだった。</p> <p>・明美さんがよいと言って、投稿することで、トラブルが起きないかなど、よく考えなければならなかった。</p>	<p>・良子さんが自分勝手な思いで動画を投稿してしまったことを押さえる。</p> <p>・良子さんが動画を投稿する前に考えるべきことについて交流させる。</p> <p>[ICT活用：考えの共有]</p> <p>・自分勝手な行動が、思わぬトラブルにつながることを押さえる。</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。</p> <p>○責任ある行動とはどのようなことでしょうか。</p>	<p>・軽率な行動が周りに迷惑を掛けるかもしれないということを考えることだと思う。</p>	<p>・責任ある行動について、周りの人への影響や先のことを考えて行動することの大切さについて考えさせる。</p>
終末 10分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○これから、責任ある行動をとるために、どのように過ごしていきますか。</p>	<p>・今までは、自分勝手な考えや、やりたいことを優先してしまっていたけれど、周りの人のことや先のことも考えて行動していきたい。</p>	<p>・自分の生活を見つめ、これからの生活に生かしていきたいことについてまとめさせる。</p>

評価の観点 節度のある生活の大切さや、よく考えずに行動することが自分や周囲に与える影響について考えている。

情報モラルメモ

動画の投稿…インターネットの利用内容の「撮影や制作、記録をする」という項目において、小学校高学年（12歳児）が25.5%である。約4分の1の児童がインターネットを介して、撮影や制作、記録をするという作業を行っている。

【令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）：令和4年3月 内閣府】

https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_torikumi/tyousa/r03/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf

道徳ワークシート

五年 組 名前

「動画の投稿」

めあて

○良子さんはなぜ動画を投稿しようと思ったのでしょう。

○動画を投稿する前に良子さんは、どのようなことを考えなければならなかったのでしょうか。

○振り返ろう（今までの自分とこれからの自分）

「情報モラルユニット」シート

5年 組 名前

「情報モラルユニット」テーマ

「ネットワーク上でマナーやルールを守り、責任をもって行動しよう」

○インターネット上で責任を果たすとは、どのようなことだろう。

「
」で考えたこと

「
」で考えたこと

もう一度考えよう

○インターネット上で責任を果たすとは、どのようなことだろう？

「情報モラルユニット」シート

5年 組 名前

「情報モラルユニット」テーマ

「ネットワーク上でマナーやルールを守り、責任をもって行動しよう」

○インターネット上で責任を果たすとは、どのようなことだろう。

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

もう一度考えよう

○インターネット上で責任を果たすとは、どのようなことだろう？

町のキャラクター（六年生 規則の尊重 主題「権利を尊重するとは」）

ぼくの住む町、亀井町は古くからの温泉街だ。おんせんがい 今度、町のお祭りが開催かいさいされることになり、そこで、町のキャラクターを募集ぼしゅうすることになったので、ぼくは応募おうぼすることにした。キャラクターは、温泉マークと「亀井町」の「亀」を合わせて、「温泉さん」なんてどうだろう。よいアイデアが浮かんだと思ったのだが、一つだけ心配なことがあった。それは、ぼくはイラストを描くことがあまり得意ではないということだ。

参考になるイラストはないかとインターネットで調べていると、かわいい亀の絵を見つけた。それと温泉マークをダウンロードして合わせてみると、自分が想像した通りのイラストができた。

夕食の時に、お兄ちゃんと自作のキャラクターの話をしていると、お兄ちゃんに、

「インターネットで見つけた絵って、勝手に使って大丈夫なのか。」

と、言われたが、ぼくは、

「二つの絵を組み合わせるっていうアイデアは自分が考えたんだよ。それに町のイベントで使うくらい

大丈夫だよ。」

と、言い返した。お兄ちゃんは何かを言いかけたが、だまってしまった。

次の日、お兄ちゃんとの会話が気になっていたが、イラストを応募することにした。

数日後、学校へ行くと、仲良しの一郎が話しかけてきた。

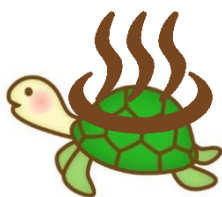
「町のホームページに、『温亀さん』が載ってたぞ。最終候補に残ったんだな。

あんなにイラストが上手に描けるなんて知らなかったよ。」

「えっ。ホームページに載ってるの!」

と言ったきり、言葉が出てこなかった。

その晩、ぼくは「温亀さん」のイラストを自分の手で描いてみた。最初はなかなか思い通りに描けず、何度も消しては描いてを繰り返して、やっとの思いで描き上げた。ぼくは決して上手とは言えないイラストをじっと見つめた。



小学校第6学年 主題名：権利を尊重するとは

内容項目 Cー(12) 規則の尊重

教材名 「町のキャラクター」

ねらい インターネット上のイラストを使い、無断で町のキャラクターに応募してしまった主人公の姿を通して、他人の権利を尊重しようとする道徳的な心情を育てる。

展開例

	<p>学習活動と発問</p> <p>○発問 ◎中心発問</p> <p>◇補助発問</p> <p>[☆]：ICT活用</p>	<p>・予想される児童の意識</p>	<p>・支援及び指導上の留意点</p>
導入 10分	<p>1 本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。</p> <p>○他人が作ったものや書いたものは、どこまで使ってよいと思いますか。</p> <p>【問題意識】</p> <p>・他人の権利についてあまり深く考えていなかったな。</p>	<p>・少し変えれば使っても大丈夫ではないか。</p> <p>・著作権があるから、他人が作ったものは勝手に使ってはいけない。</p>	<p>・分かってはいるがこのくらいは大丈夫だと、きまりを破ってしまったり、他の人たちだってやっているから少しくらい破っても大丈夫だろうと考えたりした経験を思い起こさせる。</p>
めあて 権利を守ることは、なぜ大切なのだろう。			
展開 30分	<p>2 教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p> <p>○「ぼく」はどのような思いでインターネットのイラストを使ったのだろう。</p> <p>◎自分が描いたイラストをじっと見つめたとき、「ぼく」はどのようなことを考えただろう。</p> <p>◇インターネットのイラストを使ったことが、誰にも知らなければよいのではないのでしょうか。</p>	<p>・イラストを描くのが苦手だから使っちゃおう。</p> <p>・楽ができそうだな。</p> <p>・人が苦勞して作ったものを大切にしなければいけないな。</p> <p>・自分のキャラクターが選ばれてしまったらどうしよう。</p> <p>・その後ずっとイラストのことを気にしながら過ごさなくてはならなし、後で知られたら、家族などに迷惑を掛けてしまうかもしれない。</p>	<p>・ここでは、自分の都合や気持ちが一番優先になり、安易に誤った決断をしてしまいやすい面があることを気付かせたい。</p> <p>・それぞれの考えが出しやすいうように最初は小グループで話し合いをさせ、その後、全体で意見交換をして、多様な考えに触れさせる。</p> <p>[ICT活用：考えの共有]</p>
	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについて、もう一度考える。</p> <p>○権利を守ることはなぜ大切なのでしょうか。</p>	<p>・権利を守るとは、自分や他人の努力を大切にすることだと思う。</p>	<p>・著作物は、他人の財産であることを押さえ、権利を守ることの大切さを確認する。</p>
終末 5分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○これから、権利を守るためにどのように過ごしていきますか。</p>	<p>・これからは、他人の権利を大切にすることが自分の権利を守ることに必要ということ意識して生活していきたい。</p>	<p>・法やきまりを守ることについて振り返らせ、自分自身との関わりで道徳的価値を捉えさせる。</p>

評価の観点 法やきまりは、個人や集団が安心して生活するために必要であることを考えている。

情報モラルメモ

著作権… 著作者の権利は、大きく「著作者人格権」と「著作権（財産権）」の2つで構成されている。（令和4年度著作権テキスト〔文化庁〕より一部抜粋）

【著作権制度に関する情報：文化庁】

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/index.html>

めあて

○「ほへ」はどのような町でインターネットのサービスを使ったのだろう。

○自分が描いたイラストを見てふと、「ほへ」はどのような町を考えたのだろう。

○振り返ろう（今までの自分とこれから自分）

「情報モラルユニット」シート

6年 組 名前

「情報モラルユニット」テーマ

「インターネット上の権利について考えよう」

○インターネット上の権利を守るとはどのようなことだろう。

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

もう一度考えよう

○インターネット上の権利を守るとはどのようなことだろう。

「情報モラルユニット」シート

6年 組 名前

「情報モラルユニット」テーマ

「インターネット上の権利について考えよう」

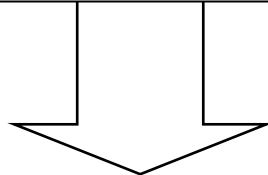
○インターネット上の権利を守るとはどのようなことだろう。

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

「 」で考えたこと

もう一度考えよう



○インターネット上の権利を守るとはどのようなことだろう。
